

【今別町教育委員会】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

ICTの活用と少人数によるきめ細やかな指導体制と個に応じた指導を学習者視点から整備した「個別最適な学び」と、これまでも日本型学校教育において重視されてきた「協働的な学び」を一体的に充実し、子どもたちの資質・能力を育成することが求められている。

上記内容を踏まえ、1人1台端末を効果的に利活用し、個々の理解度や学習ペースに合わせることで、より一人一人の児童生徒の実態に応じた学習計画に基づく学びを目指す。

また、通信ネットワーク等のICT環境を一体的に整備し、基盤的なツールとして効果的な利活用を図る。

2. GIGA第1期の総括

GIGAスクール構想を踏まえ、令和2年度に全児童生徒分における80台の1人1台端末及び全学校における通信ネットワーク等を整備し、学校現場における教科や学習場面に応じた、情報の収集・理解・整理・発信・共有及び学びのツールとして1人1台端末の日常的な利活用を図るとともに、1人1台端末の家庭への持ち帰りを可能とし、長期休業中の課題やデジタル教材等を用いた家庭学習などの様々な場面で活用することで、児童生徒の学習意欲の向上と学習環境の整備に努めた。

同じく、令和2年度に新型コロナウイルス感染症による休校等対策として、リモート環境整備を行い、遠隔学習機能強化を図った。

自宅での学びを保証するため、1人1台端末の持ち帰りに加え、モバイルルーターの整備、貸し出しを実施した。

ICT機器の活用のため、校内LAN環境整備を実施し、学習環境の整備が進められた。

3. 1人1台端末の利活用方策

1人1台端末の利活用については、児童生徒1人1人の特性や理解度、学習進度に応じた適切な課題に取り組めるよう、有効な手立てとなる学習アプリ、デジタル教材を積極的に活用し、児童生徒が主体的に学習に取り組み、自ら調べ作成したものを紹介、発表したりするなど個別最適な学びや協働的な学びを推進していく。